

# よいチーフになるための条件

## ● 後輩のことを1番に思う

先輩や部長、チーフ(自分)を主役にするのではなくて、後輩を主役にする。

後輩が「自分が主役なんだ」と思いながらスピーチに取り組めるように期待のコミュニケーションをしてあげましょう。

スピーチを教えることが先輩の役目ではなくて、後輩のことを1番に思っただげる。

そうするとこちらから教えてなくても、後輩のほうからスピーチを学びたいという気持ちで質問してきてくれる。

後輩のスピーチに対する主体性を高める。それが先輩の役目です。

## ● 長所を活かす

人は自分の長所を活かせると感じる環境では生き生きと活動ができるものです。

人は自分が生き生きと活動ができる環境ではより高い成果を出すことができるものです。

人は自分が成果を出すことができた環境に責任感を感じるものなのです。

スピーチセクションで活動するにあたって、その人は何をしたいのか？何をしているときが一番楽しそうで、何を成し遂げたいと思っているのか？それに気づいてあげたり、日々の質問の中で聞いてあげる。そしてその人の長所ややりたいことが活きるようにサポートしてあげる。それがチーフとしての役割です。

## ● 環境づくり

オープンに出れるようなスピーカーに必ず共通していることはスピーチを楽しんでやっている。

ということです。自分が笑ったときに一緒に笑ってくれる仲間がいて、スピーチで悩んだり、悲しんだりしたときに相談に乗ってくれる仲間がいる。スピーチはとにかく個人競技だと思われがちですが、人を感動させるようなスピーチはいろんな人の視点やサポート、気持ちの上にも生まれます。チーフとして肝心なことは「みんなが毎日最高に楽しくスピーチをするためにはどうしたらいいか？」を考えているかどうかです。最高に楽しいスピーチセクションを作る。チーフになるとはそういうことです。